

第8回夏季大学「新しい気象学」教室開講のお知らせ

—— 気候変動特集 ——

主催：日本気象学会：東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内
 後援：東京都教育委員会：東京都理科教育研究会：日本地理教育学会
 協力：森重出版株式会社

昨年開催し好評を得ました「新しい気象学」を本年も同じ時期に開催します。

この講座は新しい気象学の普及をめざし、主として小・中・高校の地学・理科担当教師を目標として行うものですから、特に教職にある方の多数のご参加を希望いたします。

記

期 日 昭和49年7月29日(月)12時より8月
1日(木)16時まで

場 所 東京都千代田区大手町1の3の4
気象庁講堂

対 象 小・中・高校の理科担当教師および気
象愛好者を主体とし、その他学生およ
び一般の希望者。

受 講 料 一般3,000円 教員2,700円、気象学会
員・日本地学会員2,400円 学生2,200円

申 込 先 東京都千代田区大手町1の3の4
および期日 気象庁内日本気象学会事務局に
昭和49年7月20日までに申込みのこと

申 込 方 法 下記の様式の申込用紙(縦13cm×横
18cmの大きさ)に記入の上、受講料

特 典

および必要な書類を添え、現金書留にて昭和49年7月20日まで事務局宛申込みのこと、参加決定次第に受講証を返送します。但し、定員に達し次第締切ります。

受講者には講義全内容の講義録を無料配布します。全講義終了後、受講者には受講証を交付し、全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除、学会出版物についての便宜をはかります。

講 義 録

地方在住者など本講義に出席できず、講義録のみ希望される方は学会事務局あて必要部数を申込んで下さい。1部1,000円、申込みのあった方に対しては、事務局で代金受取次第、8月上旬に講義録を発送します。なお、刊行部数が少ないので予約制をとります。希望者はできるだけ早めに申込んで下さい。申込み締切は7月20日。

—— 気候変動特集 ——

月 日	時 間	講 義 テ ー マ	講 師
7月29日(月)	13:00~15:30	気 候 変 動 の 総 論	高橋浩一郎(前気象庁長官)
7月30日(火)	9:30~12:00 13:00~15:30	気 候 変 動 の 実 態 古 気 候 学	朝倉 正(気象庁) 土屋 巖(気象研)
7月31日(水)	9:30~12:00 13:30~15:30	気 候 を 理 解 す る 基 礎 (大気大循環とそのシミュレーション等) 気 候 変 動 の 原 因 論	片山 昭(気象研) 内田 英治(気象庁)
8月1日(木)	9:30~12:00 13:00~15:30	気 候 変 動 の 影 響 見	根本 順吉(気象庁)

注) 講義の順序に多少の変更があるかもしれません。

第8回 夏期大学「新しい気象学」教室 受講申込書

東京都千代田区大手町1の3の4 (〒100)

日本気象学会事務局 御中

第8回 夏期大学の受講を希望いたしますので、受講料を添えて申込みます。

昭和49年 月 日

氏名	年齢	歳	職業
自宅住所	電 ()		
勤務先	電 ()		
所属学会			

- 現職教師の方、日本気象学会員、日本地学会員、学生の方は簡単な証明書を添えて下さい。
- 申込期日は7月20日までですが、定員をオーバーした場合は申込みをお断りすることがあります。

----- 切り取り線 -----

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
山の気象シンポジウム	昭和49年6月15日	気象学会	気象庁第一会議室
理工学における同位元素研究発表会	〃 6月17日	気象学会他共催	
第8回夏季大学 「新しい気象学」教室	〃 7月29日～8月1日	気象学会	気象庁講堂
シンポジウム 「雨量予報の現状と問題点」	〃 8月21日	気象学会東北支部	仙台
第6回レーザーレーダ国際会議	〃 9月3日～6日	レーザーレーダ国際 会議組織委員会	仙台市民会館
自然災害科学総合シンポジウム	〃 10月18日～19日		名古屋大学
秋季大会	〃 11月6日～8日	気象学会	電気ビル(福岡市)
シンポジウム「冬の低気圧」	〃 11月27日	気象学会北海道支部 ・札幌管区气象台	札幌管区气象台
第21回風に関するシンポジウム	〃 11月下旬	気象学会他共催	気象庁講堂